真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 高齢者見守り事業 | 担当課・係 | 健康福祉部　高齢福祉課　高齢者福祉係 |
| 政策名　No | 2　「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～ | 関連するSDGs･DX |  |
| 施策名　No | 3　高齢者福祉の充実 | | |

| 成果指標 | 名　称 | 初年度からの実績値の比較 | | | | | | 目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 単　位 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R11 |
| | 緊急通報システム利用数 | 人 | 335 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

**事業内容**

65歳以上のひとり暮らし高齢者および高齢者のみ世帯等に対し、急病・災害等の緊急時に、迅速かつ適切な通報を行なうために緊急通報システムを設置する。
設置型発信機、ペンダント型発信機のほか、人感センサー、熱感知センサーによる通報を行う。システムはケーブルテレビのインターネット回線を使用し、通報時には委託先受信センター(警備会社)の警備員が現場へ急行し状況確認をする。

※　システム機器の廃番により、インターネット回線を利用しない新機種に変更することとした。令和5年度11月以降、新規設置分は新機種で対応している。

**前年度の課題（Check）**

前年度転記
【課題】
・高齢化の進展により、見守りが必要な高齢者が増えていくが、必要な方に設置を進めていく必要がある。

**7年度振り返り**

【1】実績（Do）7年度に実施した事業
・緊急時のボタンによる通報のほか、24時間以上センサーに反応が無いと通報が行われるため、在宅生活の安全が図られた。
・新規設置　32台
・撤去　39台

【2】結果と課題（Check）
・【前年度課題】では見守り必要な高齢者が増えていくとあるが、携帯電話が普及しているためか、利用は急増していない。
・見守りが必要な高齢者に対しては、介護事業所や民生委員と連携し速やかな設置に取り組む。
・経費は過去5年横ばいである。

**今後の方向性と具体策**

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
R8.4月の県内調査では、実施方法に違いが見られず、他市においてもより良い方法を模索している状況がうかがえた。高齢者福祉事業全体の調査であったため、さらに個別に実施状況を確認し、整理する。

(2) 長期的な計画で検討すること
緊急通報システムの実施方法について検討していく。